

図書だより

2024年4月
榎尾中学校

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
2、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。
新生活にドキドキ・ワクワクしている人も多いと思います。
春の出会いの時期に本との出会いも楽しんでくださいね。



図書館司書の松島です。
本、アニメ、音楽、北欧雑貨が好きです。
皆さんと、たくさんのすてきな本との出会いをお手伝いしたいと思っています。
よろしくお願いします。

4月の開館・休館について

2、3年生は、4月10日(水)から図書の貸出をはじめます。

1年生は、図書館のオリエンテーションの時に貸出をします。
それまでは1年生は本の貸出はありません。

*オリエンテーションの日時は、国語科の先生から連絡があります。

開館や休館の予定変更がある場合は、図書館前に貼りだします。

図書館の利用について

① 開館時間

- ・月曜日～金曜日の10分休憩、お昼休みです。
- * 放課後の開館はありません。

② 貸出について

- ・1人2冊まで、2週間借りることができます。
- (夏休み、冬休みなどの長期休暇は、1人5冊までかりることができます。)
- ・雑誌は、新刊以外は借りることができます。
- ・貸出カード、「返却メモしおり」に記入して、本と一緒にカウンターに持ってきて貸出手続きをしてください。
- * 禁帯シールが貼っている辞書・コミックなどは借りることができません。
- * もし期限内に読めなかった場合でも、予約がなければ、延長することができます。

③ 返却

- ・図書カウンターに、貸出カード、本、「返却メモしおり」を本に挟んで持ってきてください。
- * 本の返却をしてから、新しい本を借りてください。

④ 予約

- ・読みたい本が貸出中の場合、予約ができます。
- * 順番が来たら連絡しますので、1週間以内に本を取りに来てください。

⑤ リクエスト

- ・購入してほしい本があれば、図書館にあるリクエスト用紙に記入してください。
- (入荷状況や再版状況により、購入ができない場合もあります。)

* 本を借りる時は、ペンなどの筆記用具を持ってきてください。

* 本の又貸しはしないでください。

* 本をなくしたり、汚したりしたときは弁償してもらうことがあります。

『4月23日～5月12日はこどもの読書週間』です。

“子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を”との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。

また、4月23日は、世界図書の日・こどもの読書の日です。

この機会に、小説・絵本などたくさんの本を読んでみてくださいね。

榎尾中学校 春の本祭り を開催

「4月23日～5月12日」のこどもの読書週間に、

本を2冊以上借りた人にしおりを1枚プレゼント！

5冊以上借りた人には、さらにブックカバーを先着10名にプレゼント！

*ただし、オリエンテーションや、授業中に借りた本ではなく、休み時間に本を借りた人が対象になります。

*しおり、ブックカバーの見本を図書館前に掲示するのでみてくださいね。
(しおりは3種類、ブックカバーは1種類です。)



この春、映画化された原作小説



「52ヘルツのクジラたち」 町田 そのこ

誰ともかかわらずに暮らすために、大分にある祖母の家に東京から引っ越してきた三島貴瑚だったが、祖母が芸者をやっていたことで、貴瑚に対してもあることないこと噂をされうんざりしていた。

ある時、母親に虐待され、「ムシ」と呼ばれている1人の少年との出会いをきっかけに、貴瑚の中で少しずつ変わりだす、、、。

つらく切ないが、それでも前向きに進んでいく物語。(2021年、本屋大賞受賞作品。)

*クジラは本来、10～39ヘルツで鳴くと言われているが、いくら鳴いても仲間には届かない52ヘルツで鳴く「世界でもっとも孤独なクジラ」の鳴き声が確認されている。

「変な家」 雨穴

知人が購入を考えている中古の一軒家の間取り図に“なぞの空間”があり、なにか気味が悪いということで「オカルトに詳しい」筆者に相談を持ち掛けてきた。

“なぞの空間”にとっても興味がひかれた筆者は、知人で建築家の栗原さんに間取り図をみてもらうことにした、、、。



筆者と栗原さんとで間取りのなぞ解き明かしていく、不動産ミステリーです。



「ある閉ざされた雪の山荘で」 東野 圭吾

あるオーディションに合格した男女7人は、演出家の命により、外部と連絡がとれない「吹雪の山荘」にいるという設定で、乗鞍高原のりくらのペンションで4日間過ごすことになった。

ある時、7人のうちの1人が消息不明になってしまうが、殺害された状況を説明するメモ書きが残されていたため、残った6人は、演出家の「追加設定」だと考えたが、次々に消息不明になっていき、本当に殺人事件が起きているかもしれないと疑うが、、、。

「舞台練習の設定か殺人事件か」、結末は、自分の目で確かめてくださいね。

「4月になれば彼女は」 川村 元気

4月のある日、精神科医の藤代のもとに、はじめて付き合った彼女のハルから手紙が届いた。

ある事件をきっかけに別れてしまった彼女が、なぜ9年ぶりになぜ手紙を送ってきたのか、藤代はこの手紙に思いをはせていく。そして、この手紙をきっかけに、藤代と1年後に結婚をひかえている婚約者や婚約者の妹にも、変化が訪れ、、、。切なく、悲しい、「愛」とはなにか、考えさせられる恋愛小説です。



